

2021年11月期
第1四半期
決算補足説明資料

2021.4.14

ティアンドエス株式会社
(東証マザーズ 4055)



T&S
Technology & Service

2021年11月期 第1四半期

ハイライト	p. 3
決算概要(2021年11月期 第1四半期)	p. 5
カテゴリー別売上高	p. 6
取引先別売上高	p. 7
四半期別売上高	p. 8
主要取引先動向	p. 9
エンジニアの採用状況	p. 10
損益計算書	p. 11
貸借対照表	p. 12
業績予想(2021年11月期 通期)	p. 14

(今期のテーマ)

証明への第一歩

1 過去最高収益を達成 (過去同四半期比)

売上高	: 5億86百万円(16.1%増↑、増加額:81百万円)	(前年同四半期比)
営業利益	: 71百万円(19.0%増↑、増加額:11百万円)	(同)
経常利益	: 71百万円(19.4%増↑、増加額:11百万円)	(同)
四半期純利益	: 50百万円(32.8%増↑、増加額:12百万円)	(同)

2 半導体カテゴリーが大幅に伸長

売上高:1億11百万円(34%増、増加額:28百万円) (前年同四半期比)

3 取引先:安定して推移

東芝G、日立Gは安定して推移
キオクシアG向けは88%増加 (前年同四半期比)

4 R&Dセンターの新設 (2020年12月)

2020年12月に共同研究をはじめとする新規事業に係る研究開発を強化するため研究開発本部及びR&Dセンターを新設。

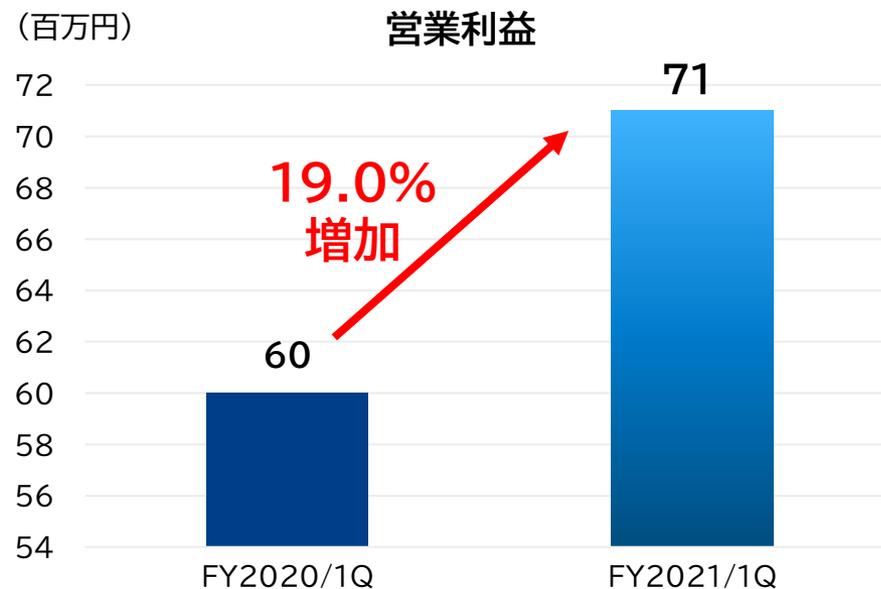
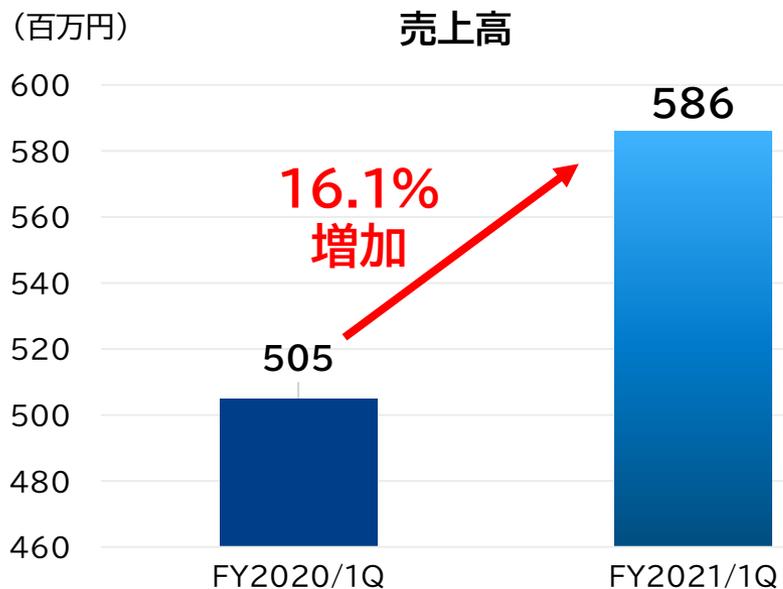
(注)前期第1四半期については、当社上場前につき監査法人による四半期レビューを受けていない数値により算出しております。

決算概要

2021年11月期 第1四半期

過去最高収益を達成 (過去同四半期比)

売上高 : 5億86百万円(16.1%増↑ 増加額:81百万円) (前年同四半期比)
営業利益 : 71百万円(19.0%増↑ 増加額:11百万円) (同)
経常利益 : 71百万円(19.4%増↑ 増加額:11百万円) (同)
四半期純利益: 50百万円(32.8%増↑ 増加額:12百万円) (同)



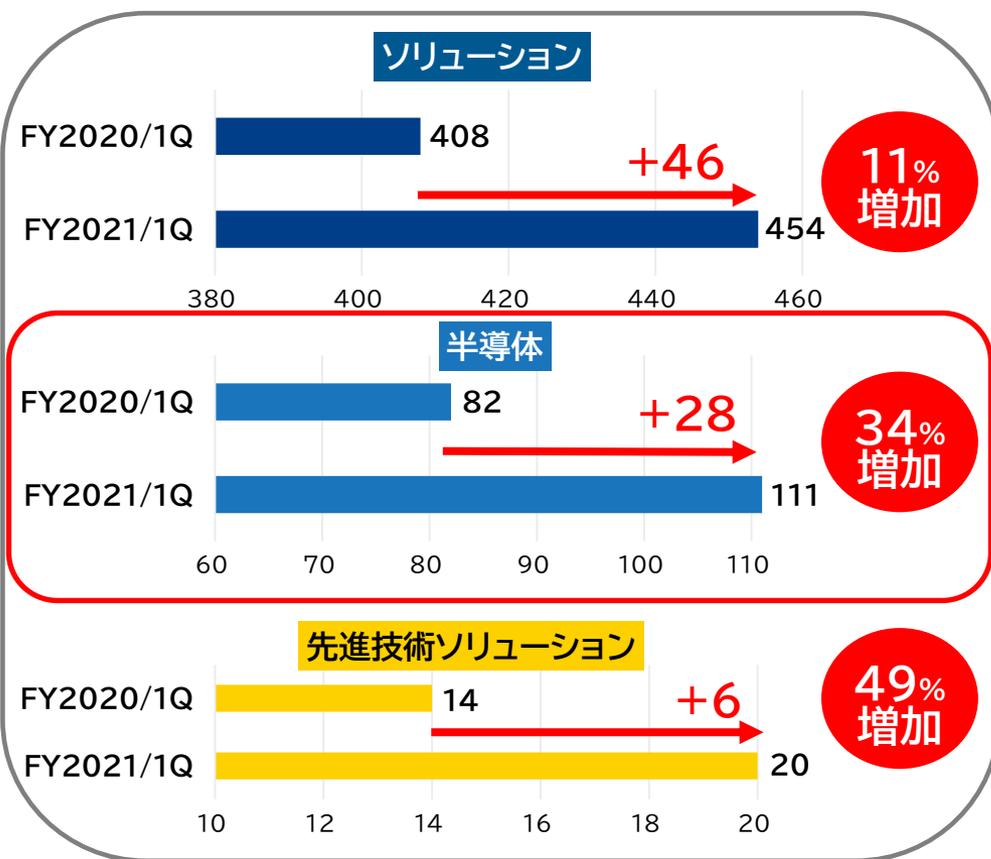
(注)前期第1四半期については、当社上場前につき監査法人による四半期レビューを受けていない数値により算出しております。

カテゴリー別売上高(FY2021/1Q)

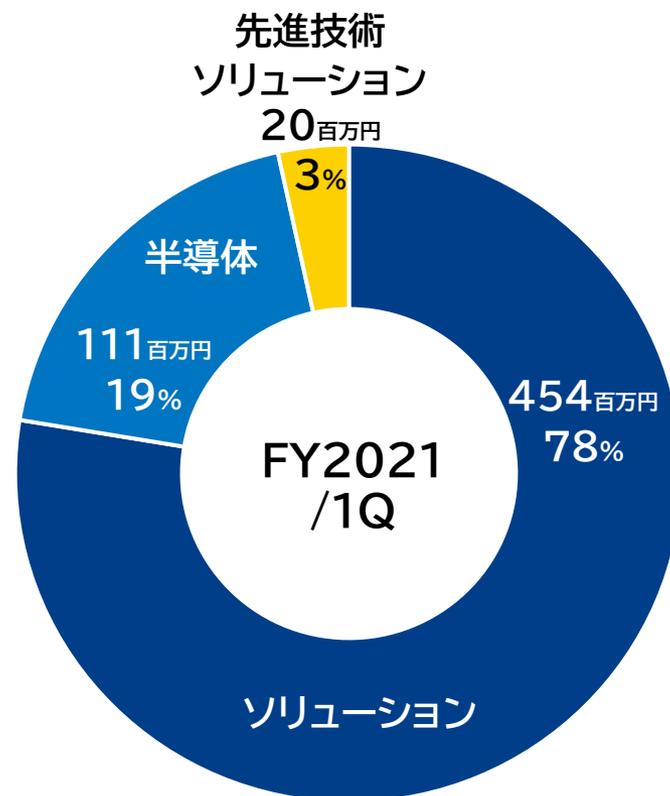
全てのカテゴリーにおいて、増収
半導体カテゴリーは、34%増加

(前年同四半期比)

売上高(カテゴリー別) (単位:百万円)



売上比率(カテゴリー別)



(注)前期第1四半期については、当社上場前につき監査法人による四半期レビューを受けていない数値により算出しております。

(注)当社の事業セグメントは単一セグメントです。売上高のみカテゴリー別に集計しております。

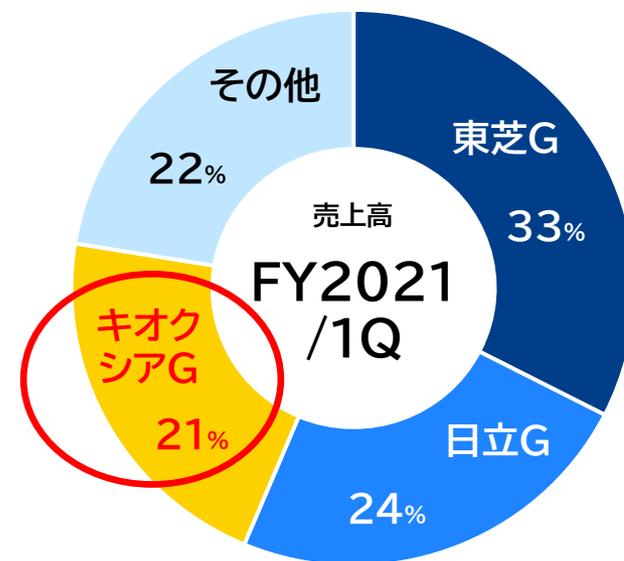
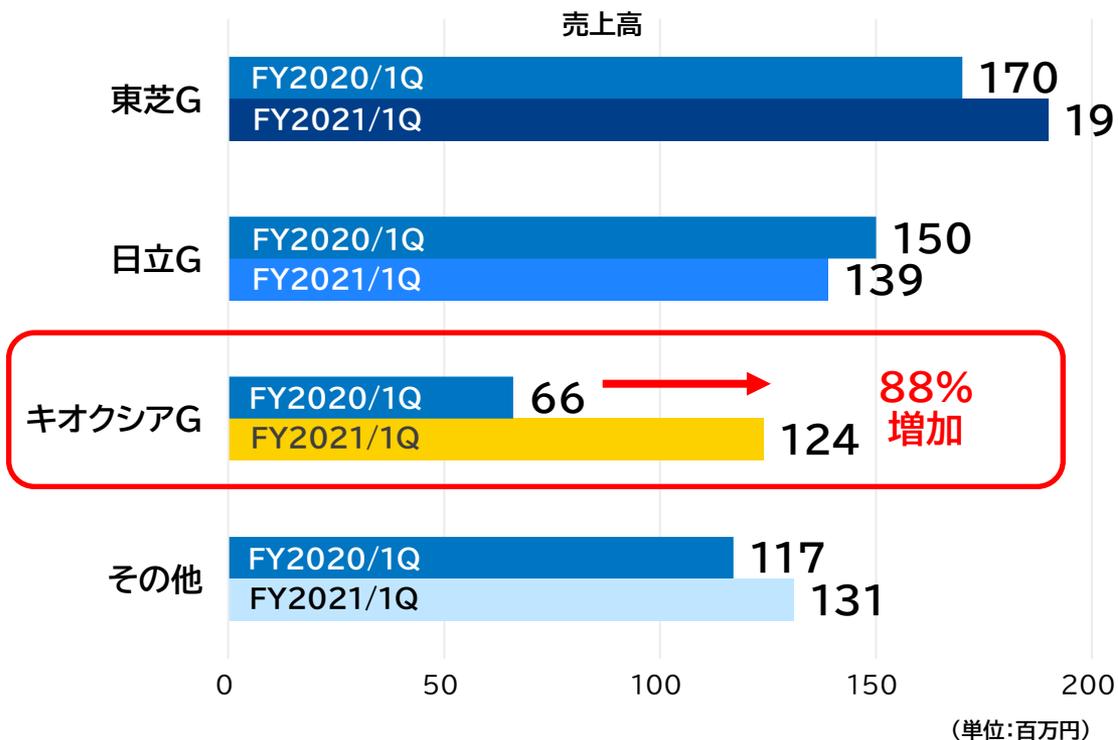
取引先別売上高(FY2021/1Q)

東芝G、日立G、キオクシアG

主要取引先は安定して推移

キオクシアGの増加が著しい

(88%増加(前年同四半期比) 構成比21%)



(注)前期第1四半期については、当社上場前につき監査法人による四半期レビューを受けていない数値により算出しております。

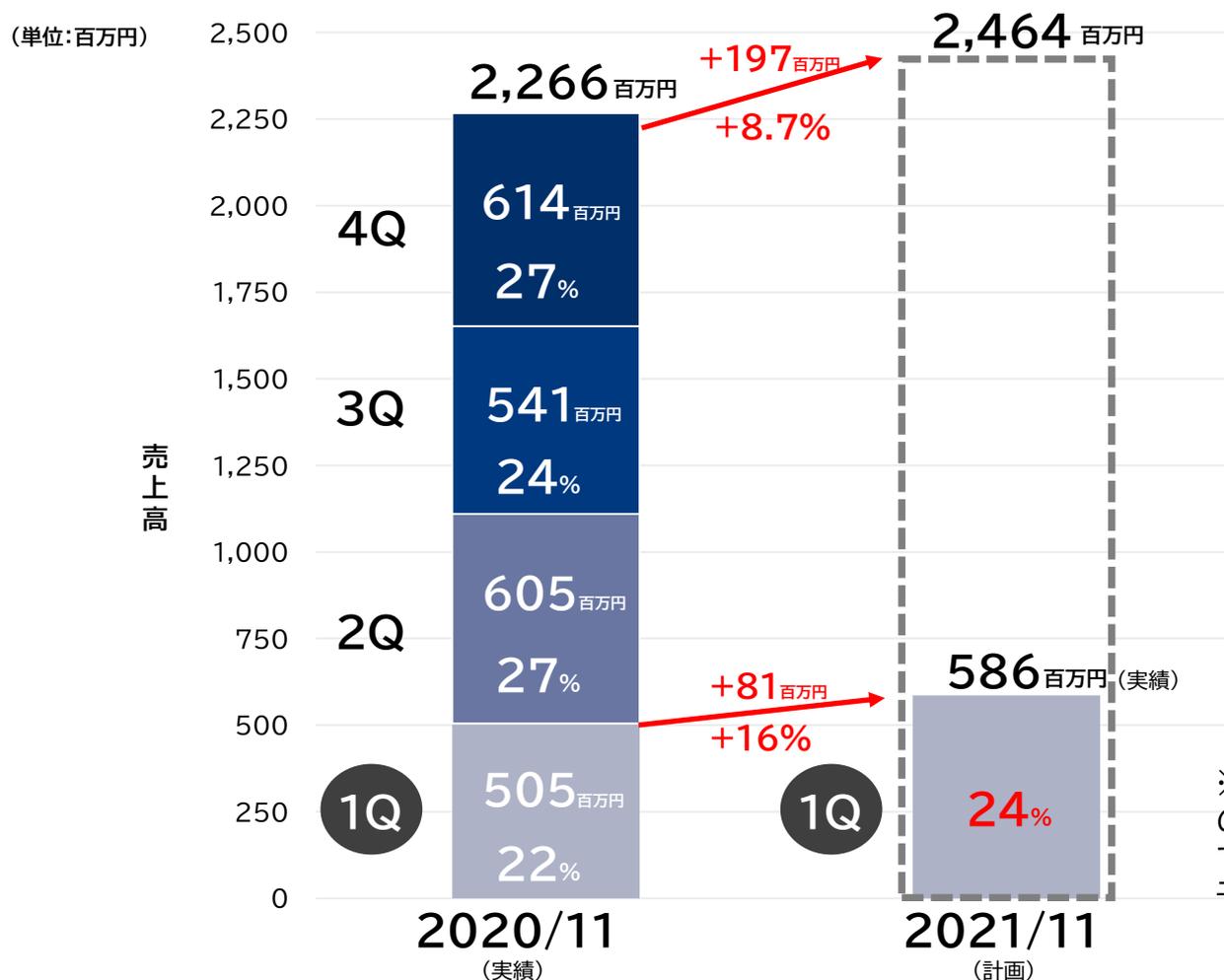
四半期別売上高(FY2021/1Q)

1Q売上高: 586百万円

増加額: +81百万円 16%増加 進捗率: 24%

(前年同四半期比)

(対通期売上計画進捗率)



※当社の業績には、エンジニアの増員状況や案件の納期の関係で2020/11期実績のように若干の季節変動が見られます。

(注)前期第1四半期については、当社上場前につき監査法人による四半期レビューを受けていない数値により算出しております。

(全体)主要取引先動向

(2021年4月14日現在)

当社の受注に関しては引き続き好調であり、主要取引先全体としても好調。各社、コロナ影響はあったものの今後は回復し、見通しも明るいものとなっています。

東芝G

インフラ関連をはじめすべてのセグメントにおいて、前年を上回る設備投資計画を発表しています。

日立G

DX需要を取り込みITセグメントが業績を牽引しています。米IT企業の買収等、デジタル企業への転換に向けての取り組みが進んでおり、投資意欲も旺盛と見られます。

キオクシアG

好調な半導体市場のもと、半導体の品薄が続いている状況であり、増産に向け新棟建設(四日市)や建設用地取得(北上)もあり投資意欲旺盛。工場棟増設に伴う当社による保守運用の増加が見込まれます。

採用達成率 **106%**

既に今期の採用目標者数を**106%達成** (2021年4月14日現在)

採用方針

全社員数の約10%

(年間採用者数)

全社員数:約300名

採用目標: **30名** (2021年11月期)

採用者数

採用目標 (年間)

30名

実績 (1Q)

15名

(2Q 現在まで)

17名

合計

(2021年4月14日現在)

32名

損益計算書(FY2021/1Q)

損益計算書(FY2021/1Q)

単位:千円	FY2020/1Q	FY2021/1Q	増減額	増減率
売上高	505,225	 586,564	81,338	16%
売上原価	360,750	413,845	53,094	15%
売上総利益	144,474	172,718	28,243	20%
販売費及び一般管理費	84,371	101,210	16,838	20%
営業利益	60,102	 71,508	11,405	19%
(営業利益率)	(11.9%)	(12.2%)		
営業外収益	0	333	333	
経常利益	60,103	 71,781	11,678	19%
(経常利益率)	(11.9%)	(12.2%)		
四半期純利益	38,333	 50,896	12,563	33%
(四半期純利益率)	(7.6%)	(8.7%)		

(注)前期第1四半期については、当社上場前につき監査法人による四半期レビューを受けていない数値により算出しております。

貸借対照表(FY2021/1Q)

単位:千円	2020/11末	FY2021/1Q末	増減
流動資産	1,407,497	1,425,951	18,454
固定資産	95,425	86,603	△8,821
資産合計	1,502,923	1,512,555	9,632
流動負債	243,604	220,023	△23,581
固定負債	46,966	48,254	1,288
負債合計	290,571	268,278	△22,293
株主資本合計	1,212,351	1,244,277	31,925
純資産合計	1,212,351	1,244,277	31,925
負債純資産合計	1,502,923	1,512,555	9,632

業績予想

2021年11月期 通期

過去最高収益を予想

(2021年11月期 通期)

単位:百万円	2020年11月期 (実績)	2021年11月期 (予想)	増減率
売上高	2,266	2,464	8.7%増
営業利益	304	322	5.7%増
経常利益	304	328	7.9%増
当期純利益	236	229	2.9%減

(カテゴリー)

ソリューション

主要得意先である大手企業3グループ(東芝G 日立G キオクシアG)からのシステム開発案件の受注が引き続き好調の見通し。
2020年10月に開設した戸塚事業所が横浜西部地区のシステム開発拠点となり受託開発業務が拡大する見通し。

半導体

好調な半導体市場を背景に、お客様の工場増設計画が続いており、エンジニア人材の供給が引き続き拡大する見通し。

先進技術
ソリューション

株式会社本田技術研究所やオムロン株式会社等に対する業務提供のほか、前期より新規取引を開始した日本電気株式会社とのディープラーニング技術に関する業務や論文調査などAI関連業務が拡大する見通し。

お問い合わせ先

ティアンドエス株式会社

IR企画広報部

Email / pr@tecsvc.co.jp

URL / <https://www.tecsvc.co.jp/>

本資料に掲載されている情報には、将来の見通しに関するものが含まれています。これらの情報については、現時点で当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現や将来の業績を保証するものではありません。経済状況の変化や一般的な業界ならびに顧客ニーズの変化、法規制の変更等、様々な要因によって当該予想と大きく異なる可能性があります。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合において、当社は、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報についても、更新又は改訂を行う義務を負うものではありません。